

令和 8 年 10 月市長定例記者会見

日 時 令和 8 年 10 月 29 日(木)
午前 11 時～

会 場 401 会議室

No.	タイトル	担当課
1	「Meet Japan in Joetsu」のロゴマークの決定及び モデルコースの公開について	観光推進課
2	市民と市長との対話集会「スマイルミーティング」 の実施結果について	広報対話課

配 布 資 料	
資料No.	1
担当課	観光推進課

「Meet Japan in Joetsu」のロゴマークの決定及び モデルコースの公開について

市民投票により「Meet Japan in Joetsu」のロゴマークが決定したほか、当市の魅力を知り、体感していただける新たなモデルコースを公開します。

1 ロゴマークの決定について

(1) 市民投票の結果

- ・期間：10月7日（水）～10月21日（水）
- ・総投票数：437票

(2) 決定ロゴマーク

- ・最多得票数：207票
- ・コンセプト：日本が誇る美しい四季を「Meet」の文字色に、上越市が誇る上杉家に伝わる紺地日の丸のイメージを「Japan」に、そして上越市を象徴する桜を「in Joetsu」に込め表現しています。



(3) 今後の活用方法（予定）

- ・SNS等における情報発信
- ・民間事業者による活用

2 Meet Japan in Joetsu のモデルコースの公開について

上越観光Naviのモデルコースページをリニューアルし、11月中旬から公開します。

※リニューアルページのイメージは別紙のとおり

(1) モデルコースの例

「春色を追いかけて ～上越の桜めぐりコース～」

- …（前半）高田城址公園⇒三和西部工業団地・産業団地⇒榮恩寺⇒桜つつみ公園⇒リバーサイドロード⇒坂田池
- …（後半）松ヶ峯⇒吉川三大しだれ桜（報恩寺、村屋、尾神）⇒五智公園⇒名立の宇山櫻

「一滴の奇跡に出会う ～発酵・酒をめぐるコース～」

- …岩の原葡萄園⇒坂口記念館⇒道の駅よしかわ杜氏の郷⇒竹田酒造店

「天空へつづく棚田の詩 ～棚田をめぐるコース～」

- …大月の棚田⇒泉の棚田⇒蓮野の棚田

「タイムスリップ三城物語 ～三つの城をめぐるコース～」

…謙信公戦国絵巻館⇒春日山城跡⇒福島城⇒高田城三重櫓⇒
歴史博物館

「ハイカラな風に誘われて ～明治の高田をめぐるコース～」

…榺神社⇒旧師団長官舎⇒高田世界館⇒瞽女ミュージアム高田⇒
日本スキー発祥記念館⇒金谷山公園

「兵（つわもの）たちが夢の跡 ～城跡をめぐるコース～」

…春日山城跡⇒大間城跡⇒直峰城跡⇒箕冠城跡

(2) 今後の予定

先行して公開できるコースから対応し、順次、コースを増やしていきます。

上越観光Navi
フォーマット例

※下記の内容はイメージであり、
変更になる場合があります。

天空へつづく棚田の詩
棚田をめぐるコース

美しい棚田の風景は、私たちの心に癒しや安らぎを与えてくれます。
棚田が魅せる四季折々の美しい風景から、地域を守るみなさまの温もりと息遣いを感じてください。

Day 1

大月の棚田 — 泉の棚田 — 蓬野の棚田



モデルコースをMAPで見る



Day 1

\ Start /
上越妙高駅

車で約 30分

Spot
01おおつきのなだ
大月の棚田

滞在時間

15



急な斜面を懸命に開墾して作られてきた棚田。少しでも多くの水田を作ろうとした先人の苦労が偲ばれます。棚田の曲線的な美しさは、見る人にぬくもりと懐かしさを思い出させてくれます。

このスポットを詳しく見る



車で約 10分

Spot
02

いずみのたなだ

泉の棚田

滞在時間

15



棚田の上を走る市道東頸城幹線から見渡すと眼下に棚田が広がり、遠くに妙高、火打の連峰が眺望できる美しい景観が広がっています。

新緑がまぶしい田植え、薫風にそよぐ稲たち、強い日差しを浴びての草刈り、赤とんぼ舞う稲刈り、真っ白な深い雪に覆われた棚田、凛とした山里の暮らしがここにあります。

夏、この棚田にソーラーLEDライトを灯すイベント「棚田のきらめき」を開催します。静寂の中できらめくLEDの灯、虫の音、満天の星空。ファンタスティックな空間と時間を求めて大勢の人々が訪れます。

このスポットを詳しく見る



車で約 30分

Spot
03

はすののたなだ

蓮野の棚田

滞在時間

15



田植え前の水を張る春、常緑で風薫る夏、黄金色の稲穂が実る秋、真っ白な雪に覆われる冬と四季を通じて自然が織りなす景色を楽しむことができます。

農林水産省が選定する「日本の棚田百選」に選ばれた棚田です。

このスポットを詳しく見る



車で約 1時間

上越妙高駅

Goal

配 布 資 料	
資料No.	2
担当課	広報対話課

市民と市長との対話集会「スマイルミーティング」の実施結果について

■開催区別の参加者と主な意見

開催日	開催区	参加者数（発言者数）	主な意見・要望
4月20日	大島区	40人（10人）	・ 要援護世帯等への大雪時の除雪支援 ・ 小規模農家への支援、担い手確保
27日	清里区	24人（10人）	・ 地域住民組織に対する支援 ・ 地域独自の予算事業における負担割合
5月14日	牧区	36人（15人）	・ 牧区の林業の見直し、林業への支援 ・ 地域実情を踏まえた施策や支援の検討
18日	大潟区	34人（18人）	・ 地域独自の予算事業の見直し ・ スマート農業の推進と農家への支援
26日	三和区	33人（21人）	・ 地域住民の消火栓使用と防災対策 ・ 多世代交流プレイスの概要等
27日	安塚区	49人（15人）	・ 上越市の資源を活用した観光振興策 ・ 多世代交流プレイスと子どもの体験活動
6月29日	中部まちづくり センターエリア	35人（15人）	・ 少子化対策、若者定着のための企業誘致 ・ 少子化時代に対応した町内会のあり方
7月2日	浦川原区	43人（16人）	・ 地域農業の維持に向けた支援等 ・ 大型鳥獣対策とジビエ政策
6日	吉川区	36人（13人）	・ 火災発生時における地域住民の消火栓使用 ・ 多世代交流プレイスの整備方針
9日	中郷区	43人（14人）	・ 調整交付金の使途決定への地域関与 ・ 若者世代が交流できるコミュニティ
21日	名立区	34人（17人）	・ 名立区の魅力発信と地域資源の継承 ・ 小中一貫校の整備及び子育て世代への支援
8月21日	北部まちづくり センターエリア	36人（16人）	・ 関係人口の拡大等を通じた地域の人材確保 ・ 高校生の探究活動の促進及び支援
10月6日	柿崎区	40人（13人）	・ 県立柿崎病院の存続と病床確保 ・ 町内会管理の防犯灯更新時における支援
13日	板倉区	40人（20人）	・ 町内会の広域運用と加入促進支援 ・ やすらぎ荘、光ヶ原高原の活性化
20日	頸城区	33人（12人）	・ 地域にぎわい事業補助金の予算配分 ・ 外国人市民とのコミュニケーション促進
28日	南部まちづくり センターエリア	24人（17人）	・ 空き家バンクに登録しやすい仕組みづくり ・ 閉校、廃止した施設の利活用
計	16会場	580人（242人）	

<参考> 年代別参加率（8月末・12会場実施時点）

20代 2%・30代 3%・40代 6%・50代 12%・60代 29%・70代 41%

80代以上 7%

※10月実施分を含めた年代別参加率は現在集計中